



履修モデル図



DDPサイトはこちら



<https://hddp.jp/>

カリキュラムの理念

商学部にデータ・デザイン・プログラムを設置する目的は、技術とビジネスを“情報（データ）”と“デザイン”で連結できる新しいタイプの経営者（デザイン経営者）を育成し、“イノベーション人材”を輩出することです。その柱として、コンピュータ・サイエンスとデザイン思考を融合したカリキュラムを構成する点に独自性を持っています。具体的には、デザイン系科目（UX、マーケティング・コミュニケーションなどを含む）、情報学・コンピュータ・サイエンス/プログラミング系科目（AI、IoT、Big Data等を含む）、そしてチームで実務課題に取り組むワークショップを用意しています。また、芸術系大学や民間企業と連携した講義やシンポジウム、イノベーション・デザインで先進的な海外の大学への留学機会などを提供し、グローバルレベルで通用する人材育成を目指します。本プログラムは2年生を対象とする30名程度の選抜制の特別プログラムです。商学部以外の学部生も受け入れる学部横断型の構造を持っています。2年生から4年生までの3か年で構成されます。修了者にはサーティフィケートが授与されます。

主な講義

新商品開発基礎

商業的に成功するアイデアは、3000の原案に対して1つとも言われる。新商品開発のフロントエンド、すなわちアイデア創出とコンセプト開発は、曖昧で管理が難しいにも関わらず、その後の商品の成功を運命付ける重要なプロセスである。本講義では、フロントエンドを中心に、創造性開発やプロジェクトマネジメントのための一連の手法や、モチベーション等の心理状態に即したチーム管理等を、実例や学術理論を通して学習する。

デザインの基本

本講義の目的は、「どのようにすれば知識や関心の全くなかった人にデザインを身につけさせることができるのか？」ということである。多摩美術大学教授の永井一史（HAKUHODO DESIGN代表取締役社長）が、多様な実務家をゲストとして招いて講義を構成する。本講義でのデザインとは、製品/サービス全体やそのユーザー接点を設計する行為全般を指す。何故デザインを学ぶのか？それは、魅力的な製品/サービスかによってユーザーにとっての価値が変わり収益性や企業経営が大きく左右されるからである。また新しい事業を発想する創造性教育としてもデザインは重要である。

デザイン思考とデザイン経営

「デザイン思考」と「デザイン経営」の「なぜ」を理解することに主眼を置く。ビジネス、政策の現場での流行語の一つとなっているこの2つの考え方について、その実践例や実践手法についてはたくさんの方が溢れている。しかし、それがなぜ有効なのかはほとんど探求されていない。この講義では「デザイン思考」「デザイン経営」の一步先を歩むことになるであろう皆さんが、その方法を考えていくための理論的な手がかりと、考える素材を提供する。

2年次ワークショップ

本ワークショップでは、履修生がいくつかのグループを形成し、自ら課題を発見し、その解決の提案や提案を具現化するためのプロトタイプを行うことを通じ、課題解決能力を育成していく。その実施においては、データの活用と、デザインの発想の活用を重視する。また、本授業を通じて、課題発見から課題解決までの一連の流れを理解し、その実施に向けた基礎的能力を身につけることを目的とする。

■ 修了要件

- 【1】 商学部に設置するプログラムとし、期間は2年次から4年次までの3年間とする。
- 【2】 修了要件は、DDP科目群から必須科目16単位、選択科目10単位、計26単位を取得することとする。修了者には、卒業時に商学部長から修了証が授与される。
- 【3】 留学や休学等による履修の休止は可とする。留学先で履修した科目との単位互換はありうるが、本プログラムの修了要件には含めないものとする。

■ 第2期生の声

岡本さん

多くの人から簡単に情報を集められる時代になってきているので、それを上手く活用し、「顧客の本当に求めるものは何か」を追求し、感動と日々の幸せを感じさせることのできるようなサービス・モノを提供したいです。

今村くん

DDPで培う知識と経験を活用しながら、変化する社会の中で新しいことに楽しみを持ってチャレンジしていきたいです。

池森くん

情報化の進む社会の中で問題となっている情報格差の是正を図るとともに、DDPのカリキュラムに含まれる授業を通して学んだ知識・見聞を実践の場で活用できる環境づくりを行い、個人が求める情報を適切かつ迅速に伝えられるサービスを整備するなどして、個人の特性などに縛られない、住みやすい社会の実現をデザインの面からめざしたいです。

■ 連絡先

E-mail : ddp-info@cm.hit-u.ac.jp

〒186-8601 東京都国立市中2-1 一橋大学

第2研究館7階709

データ・デザイン・プログラム事務局

和氣・肥後 Tel : 042-580-8727

第2研究館1階106 商学研究室

長谷部 Tel : 042-580-8561

■ 第3期生:2023年度開始予定

◆ 出願要項の公開

2022年11月29日 (火)

◆ 出願期間

2022年12月13日 (火) ~2023年1月6日 (金)

◆ 第1次審査(書類選考)

2023年1月10日 (火) ~ 2023年1月12日 (木)

◆ 第1次審査合格者の発表

2023年1月13日 (金)

◆ 第2次審査(面接試験)

2023年1月18日 (水)

~ 2023年1月20日 (金) のうち1日

◆ 最終合格者の発表

2023年2月14日 (火)

■ 募集要件

- 【1】 募集人数は約30名とし、全学部1年生が応募可能とする（合格者の目安はおよそ3分の2（20名）を商学部生、3分の1（10名）を他学部生と想定する）。
- 【2】 選考は提出書類に基づき第1次審査（書類選考）を行い、第1次審査合格者を対象に第2次審査（面接試験）を行う。提出書類、面接試験、成績を総合して最終合格者を決定する。
- 【3】 提出書類は参加願および志望理由書（エッセイ）とする。推薦書は不要とする。
- 【4】 Shibusawa Scholar Programや、他学部GLPプログラムとの併願は不可とする。



DATA DESIGN
PROGRAM